



2019年9月25日 発売

日本社会の周縁性

伊藤亜人 (東京大学名誉教授) 著

普遍的論理的思考の中国・韓国。物に託して自己や想いを表現する、東アジア文明の特殊な「周縁」としての日本文化と日本人の精神。

- ◇ 言葉により抽象化された理論を重視する中華文明圏の伝統の中で、日本人は具体的な「物」に託して、自己の想いや官能を表現してきた。
- ◆ 規範的・観念的な韓国の文芸に疲れ、感性を描く日本のアニメに惹かれる若者たち。
- ◇ 人と物の間に霊的な関わりを見出し、「難しい話」よりも経験と実践を重視する周縁性。
- ◆ 「個人」が主体の中韓社会と、「地域」が基調の日本の空間認識。
- ◇ 韓国研究の先駆者が、長年にわたるフィールドワークや実体験をもとに語る、似ているようで似ていない隣国・韓国との比較から見えてくる画期的日本論。

≪目次≫

I 東アジア文明圏の周縁・日本

1 歴史地理的に見た日本 / 2 文明社会の高度な統合 / 3 思想史というアプローチ

II 物との相互関係を前提とする日本

4 人間の主体性・中心性 / 5 人と物

III 即物的な日本人の認識

6 形式と精神性 / 7 空間認識 / 8 歴史観 / 9 二宮尊徳の仕法

IV 論理体系を拒否する日本人

10 「植民地近代」 / 11 指導性と競争 / 12 日本社会の周縁の様相

[著者]伊藤 亜人(いとう・あびと)

東京大学名誉教授。1943年生まれ。東京大学教養学部卒業。東京大学教授、琉球大学教授、早稲田大学教授等を歴任。その間、ハーヴァード大学客員研究員、ロンドン大学SOAS上級研究員、韓国ソウル大学招聘教授。専攻、文化人類学、民俗学。第11回渋沢賞(1977年度)、大韓民国文化勲章(玉冠、2003年)、第9回樫山純三賞(2014年)。著書『文化人類学で読む 日本の民俗社会』(有斐閣)、『北朝鮮人民の生活一脱北者の手記から読み解く実相』(弘文堂)ほか



定価：2500円+税

四六版・並製260ページ

青灯社

営業
(担当・社)

FAX: 03-5368-6943

TEL 03-5368-6550

eメール sales@seitosh-p.co.jp

(書店印)
ジャンル/日本論

伊藤亜人 著

日本社会の周縁性

冊

ISBN 978-4-86228-108-1 C0036

定価 2500円+税